【公開版】

日本原燃株式会社
2023年3月9日

至近の対応スケジュール

凡例：☆審査会合案件　▽ヒアリング　□資料提出

No		項目	3月の会合での説明事項 ☆　:説明予定の項目 （☆）:説明を目標とする項目	４月の会合での説明事項 ☆　:説明予定の項目 （☆）:説明を目標とする項目
1	会合資料	MOX申請概要	－	－
2		類型分類、設備構造：ＭＯＸ閉じ込め	－	－
3		地盤、地震	－	－
4		類型分類、設備構造：再処理外衝	－	－
5		第2回設工認申請書の不備	－	－
6	MOX補足説明資料等	ＭＯＸ設工認説明の進め方	☆	
7		共通08-2：第2回申請の申請書の構成	☆	
8	地盤地震（SA）	入力地震動の策定	☆ 現在の対応状況を報告	☆ 内容について報告
9		耐震建物01（評価対象の網羅性，既設工認との手法の相違点の整理）		
10		耐震建物08 （地震応答解析に用いる地盤モデル及び地盤物性値の設定について）		
11		耐震建物31 （既認可からの変更点：洞道）		
12		耐震建物38 （既認可からの変更点：建物）		
13		耐震機電13 （既認可からの変更点：機器・配管系）		
14	類型分類設備構造	共通12（外部衝撃）【全体の整理方針】		
15		共通12（外部衝撃）【飛来物防護板】	☆	
16		共通12（外部衝撃）【飛来物防護ネット、冷却塔、カメラ、試薬貯槽、排気筒、建物、計装設備】		☆
17		共通12（溢水）		(☆)
18		共通12（化学薬品漏えい）		(☆)
19		共通12（火災防護設備）		(☆)
20		共通12（地震）		(☆)
21		共通12（重大事故等対処設備）		☆
22		共通12（その他）		
23	溢水	コメントに対する対応方針(詳細は別紙参照)		☆
24		○設計、評価の前提となるもの		
25		・SFPスロッシング評価　解析方法		
26		・SA要求を受けたDBへの展開		
27		・その他の前提となるもの		
28		○共通12に関連する説明		
29		○審査に向けて全体像を示すもの		
30		1．設計条件及び評価判断基準		☆
31		評価対象設備の選定		
32		基本設計方針		
33	薬品	コメントに対する対応方針(詳細は別紙参照)		
34				
35		1．設計条件及び評価判断基準		
36		評価対象設備の選定		
37				
38	内部火災	各補足説明資料		
39	重大事故	各条00別紙1（蒸発乾固、水素、プール、放出抑制、水供給、通信） ・基本設計方針への八号（有効性評価）取り込み		☆
40		重事17（「1.設計条件及び評価判断基準」の骨格整理） ・蒸発乾固		☆
41		重事17（「1.設計条件及び評価判断基準」の骨格整理） ・水素、プール、放出抑制、水供給、通信		☆
42		各条00別紙1（先行条文以外） ・基本設計方針への八号（有効性評価）取り込み		☆
43		重事17（「1.設計条件及び評価判断基準」の骨格整理） ・臨界、TBP、電源、計装、制御室、放管、緊対		☆
44		各条00別紙1～6		
45		個別補足説明資料		
46	その他	第2回設工認申請書の不備について	☆	

※ヒアリング日程は要調整

修正必要箇所の修正
既認可からの設備変更等の説明追加
分割申請における第2回申請対象設備の申請に係る成立性説明追加
閉じ込め等に係る排気設備等の構造説明追加

地盤モデルの設定の違いによる感度解析

ヒアリングの状況を踏まえ資料提出日及びヒアリング日を設定する

申請対象設備の類型分

2/27ヒアを踏まえた整理方針の見直し結果及び飛来物防護板（主排気筒、屋外ダクト）の構造概要

3/3ヒアを踏まえた修正方針（類型分類から構造設計の説明の展開方針、別紙2の構造設計の整理表（竜巻）の見直し方針）（なお、別紙2（地震）は口頭で見直し方針を説明予定）

3/3,7ヒアの反映版

3/15ヒアの状況を踏まえて、スケジュールの見直しが必要

3月の会合で説明するためには資料提出/ヒアリングを複数回設定する必要があるが、全体の整理方針及び飛来物防護板の整理結果の取り込み作業を考慮すると、複数回の設定が難しい状況（3/14資料提出も対象設備をどこまで整理できるか検討中）

3月の対応状況を踏まえ提出日等を設定する

基本は主要条文（外部衝撃、溢水、化学薬品漏えい、火災防護設備、地震、重大事故等対処設備）の分類で構造概要の説明を整理する方針であるが、当該分類で整理できない設備はその他として纏めて整理

外部衝撃の対応状況により見直す可能性がある

重大事故等対処設備の構造設備の類型の整理内容を説明

選定結果（SA含む）

評価対象設備の選定の考え方（SA含む）

溢水と同様にコメント対応方針を整理・分類し、説明順番をスケジューリング（作業中。追而）

溢水の進捗状況も踏まえヒアリングを設定

3/14のコメントの内容・量に応じて

ヒアリングを重ね、情報を拡充しながら、1.設計条件及び評価判断基準から2-1となる共通12の類型分類・構造へ進む

第1表・第2表の作成により、添付書類間のつながり、DBとのつながりが見えるため、【「1.設計条件及び評価判断基準」の骨格整理】にまとめた

重事17での1.設計条件及び評価判断基準に係る説明において必要なものを順次提出、その後2-1に係る補足説明資料を提出

追而、コメント反映版

コメント反映版

別紙

溢水/化学薬品漏えい　対応スケジュール

凡例：▽ヒアリング　□資料提出

4月審査会合に向けた溢水/化学薬品漏えいスケジュール設定（イメージ）

3/14～4/B

コメントに対する対応方針

優先度高の項目
○設計、評価の前提となるもの
・SA要求を受けたDBへの展開
・SFPスロッシング評価　など
○共通12議論の前提となるもの
・対策設備の用途、使い分け　など
○審査に向けて全体像を示すもの
・申請書/補足で示す内容、図表の整理

基本設計方針へのフィードバック

4/B～4/M
基本設計方針の説明

4/B～
共通12（溢水、化学薬品）

4/M～
審査会合資料

4/末（仮）審査会合で説明したい項目
「1．設計条件及び評価判断基準」
「2　1．システム設計、構造設計」

No		項目	3月 1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金	4月 1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	2週	3週	4週
1		コメントに対する対応方針	■		▼							□(更新)							□(更新)																												
2		○設計、評価の前提となるもの										□				▽																															
3		・SFPスロッシング評価　解析方法（No.26）										□				▽																															
4		・SA要求を受けたDBへの展開（No.3、5）																						□	(▽)																						
5		・溢水水位に係る床勾配の考慮（No.35）																	□						(▽)																						
6		・屋外タンク等の破損に対する局所的な評価（No.37）																	□						(▽)																						
7		・保守セルのプラグ・開口部の止水性の考え方（No.9）																	□						(▽)																						
8		・同系統内における破損形状の設定の整理（No.19、20、23）																	□						(▽)																						
9		・蒸気影響評価における安全率（No.22）																	□						(▽)																						
10		・溢水評価における安全率の設定と根拠（No.24）																	□						(▽)																						
11		・屋外消火栓からの溢水整理（No.25）																	□						(▽)																						
12		・屋外溢水源（地下ピット、冷却塔）の扱い（No.28）																	□						(▽)																						
13	溢水	・屋外溢水源（自然現象）の整理（No.29）																	□						(▽)																						
14		・アクセス通路部における基準水位の考え方（No.32）																	□						(▽)																						
15		・蒸気影響評価における空調条件（No.41）																	□						(▽)																						
16		○共通12に関連する説明																																													
17		・堰等への設計要求に係る考慮すべき荷重、環境要因の整理（No.10）										□				▽																															
18		・採用しなかった対策（設備）の理由（No.12、34）										□				▽																															
19		・対策設備の用途、使い分けの整理（No.46）										□				▽																															
20		・プール蓋の耐震性に係る要求整理（No.47）										□				▽																															
21		○審査に向けて全体像を示すもの																																													
22		・申請書/補足説明資料で示す内容、図、表の整理（No.6）															□	(▽)																													
23		1．設計条件及び評価判断基準																																													
24		評価対象設備の選定															□								(▽)						(□)																
25		基本設計方針																																									□				
26		コメントに対する対応方針	■		▼							□(更新)																																			
27																																															
28	薬品																																														
29		1．設計条件及び評価判断基準																																													
30		評価対象設備の選定															□																														
31																																															
–		類型分類/設備構造　共通12（溢水）																																										(□)	(□)	
–	関連	類型分類/設備構造　共通12（化学薬品）																																										(□)	(□)	
–		重事17（「1.設計条件及び評価判断基準」の骨格整理）			■					▼						□	▽							□	▽																					

ヒアリング結果をふまえ、
再ヒアリングを設定

評価対象設備の選定の考え方（SA含む）

選定結果SA含む）

溢水と同様にコメント対応方針を整理・分類し、
説明順番をスケジューリング（作業中。追而）